

図画工作

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
9 開隆堂	図画工作
116 日 文	図画工作

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点	視点	方法
(ア) 基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	題材の目標, 導入の文章の表記及び具体例
	② 材料や用具の取扱い, 説明の仕方	材料や用具の取扱いの記載
	③ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統と文化に関する鑑賞作品等の記載
	④ 豊かな情操や道徳心の育成に関する内容の記述	「道徳の内容」と関連した題材等の記載及び具体例
(イ) 学習方法の工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	マークや図等の活用及び具体例
	⑥ 造形活動への意欲を高め, 社会や文化とのかかわりを考えさせるための工夫	身のまわりの造形に関心をもたせる鑑賞資料等の扱い
(ウ) 内容の構成・配列・分量	⑦ 題材や資料等の配列	題材数及び構成や配列
	⑧ 掲載している作品等の数	サイズを明記している参考作品の数
(エ) 内容の表現・表記	⑨ 作品等についての解説・表記の仕方	作品や造形活動についての解説・表記の仕方及び具体例
(オ) 言語活動の充実	⑩ 鑑賞活動における言語活動の工夫	言語活動の示し方及び具体例

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	題材の目標，導入の文章の表記及び具体例

	題材の目標及び導入の文章の表記	具体例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の目標を，3種類のマーク（「試したり，見つけたり，考えたりして思いつく力」，「形や色，方法や材料をくふうする力」，「心を開いてたのしく活動し，友だちとかかわり，協力し合う力」）と文章で示している。 ○ 各題材名の周囲に，活動のきっかけとなる文章を示している。 	<p>（5・6下）「墨のうた」</p> <p><目標> 墨を使って，思いのままにかくことをたのしむ</p> <p><きっかけとなる文章> 墨は，水の量の加減で，うすい灰色からこい黒色まで，変化に富んだ色になります。にじんだり，かすれたり，いろいろな表情を見せてくれます。</p> <p>太さのちがう筆をためしたり，身近なものを筆として使ったりして，思いのままに墨でかいてみよう。</p>
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の目標を，5種類の色分け（造形遊びをする活動，絵に表す活動，立体に表す活動，工作に表す活動，かん賞する活動）と文章で示している。 ○ 各題材名の下に，活動のきっかけとなる文章を示している。 	<p>（5・6下）「墨で表す」</p> <p><目標> いろいろな方法を試しながら，墨と和紙で表す。</p> <p><きっかけとなる文章> ぽたっと落ちた墨，すうっとにじんだ墨。水と和紙に出会ったしゅん間に墨が動き出す。気持ちのままに手を動かし，体のリズムにのせてかいていこう。</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②材料や用具の取扱い，説明の仕方
方法	材料や用具の取扱いの記載

	材料や用具の取扱いの記載
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学年において目次に，それぞれの題材で使用する主な用具・材料を示している。 ○ すべての学年において巻末に，「パレットコーナー」及び「道具箱」を4ページ設け，表現に必要な用具の扱い方や技法，材料についてイラストや写真を使って説明している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学年において巻末に，「使ってみよう材料と用具」を6ページ設け，表現に必要な用具の扱い方や技法，材料についてイラストや写真を使って説明している。 ○ 各題材で扱う主な用具を，ページ番号横にマークで示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統と文化に関する鑑賞作品等の記載

伝統と文化に関する鑑賞作品等の記載			
開隆堂	1・2上	3・4上	5・6上
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩槻人形<small>いわつきにんぎょう</small> ○ 外国の友だちの絵(南アフリカ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組木細工 ○ フォークギター, バイオリン, バンジョー, たてごと, びわ, こと, 三味線 ○ ねふた祭り, ふく楓 ○ 那智の火祭り<small>なちひまつり</small> 祭人形<small>まつりひとがた</small>, 佐世保こま<small>させぼこま</small>, 米食い鼠<small>こめくみねずみ</small>, けっちや面<small>けっちやめん</small>, 鯛車<small>たいぐるま</small>, 観音寺の手まり<small>くわんおんじのてまり</small>, 修善寺麦藁<small>しゆぜんじむぎわら</small> 細工<small>さいいく</small>, ガラガラ船<small>がらがらふね</small>, 越前竹人形<small>えちぜんたけひとがた</small> ○ 線こう花火, こんぺいとう ○ 外国の友だちの絵(ルーマニア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 染付羊歯文大皿<small>ぞめつけしだもんおおざら</small> ○ 手形(南米パタゴニアの古代の壁画) ○ 水引<small>みずひき</small> ○ 備前焼<small>びぜんやき</small>, 鎌倉彫<small>かまくらぼり</small> (牡丹文香合<small>ぼたんもんこうごう</small>) ○ 江戸切子<small>えどきりこ</small>, 南部鉄器<small>なんぶてつぎ</small>, 茶せん<small>ちあ</small> ○ 外国の友だちの絵(カンボジア)
	1・2下	3・4下	5・6下
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 吉野杉のわりばし<small>よしのすぎ</small> ○ ランタンフェスティバル, 秋田竿燈まつり<small>あきたかんとう</small> ○ 外国の友だちの絵(韓国) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 板相撲<small>いたあひま</small> ○ 江戸小紋<small>えどこもん</small>, 絹と機織り<small>きぬはたおり</small> ○ 外国の友だちの絵(スイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富嶽三十六景<small>ふがくさんじゅうろっけい</small> 遠江山中<small>ととうみさんちゆう</small> ○ 幻<small>まぼろし</small> ○ 清水寺<small>しみずでら</small> ○ 風神雷神図屏風<small>ふうじんらいじんずびょうぶ</small> ○ 加賀友禪<small>かがゆうぜん</small> ○ 大漁旗<small>たいりょうぼた</small>, 紅型<small>びんがた</small>, 和傘<small>わがさ</small>, 津軽塗<small>つがるぬり</small>, 和菓子<small>わがし</small>, 藍染<small>あいぞめ</small> ○ 外国の友だちの絵(アラブ首長国連邦)
日 文	1・2上	3・4上	5・6上
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国の友だちの絵(イタリア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ こいのぼりをつくる, あめをつくる, やきものをつくる ○ 外国の友だちの絵(ブルガリア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火えん型土器<small>いろえきじこうろ</small>, 色絵雄香炉<small>いろえきゆうかうろ</small> (京焼<small>きやうやき</small>), 染付兔文皿<small>ぞめつけうさぎもんざら</small> (有田焼<small>ありたやき</small>), 古伊賀水指<small>ふるいがみずさし</small> 銘<small>めい</small> 破袋<small>やぶれぶくろ</small> (伊賀焼<small>いがやき</small>), 鬼萩花冠高台茶碗<small>おにはぎかかんこうだいちゃわん</small> 銘<small>めい</small> 命の開花<small>いのちのかいけ</small> (萩焼<small>はぎやき</small>) ○ 茶室, カップドキアの岩石遺跡群, 福建の土楼, 白川郷の合掌造り ○ 外国の友だちの絵(中国)
	1・2下	3・4下	5・6下
<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国の友だちの絵(ブルガリア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ べらぼうだこ, はと車, 赤ベコ, 松江姉様<small>まつえねえさま</small>, 三角だるま, はと笛<small>たけへび</small>, 竹蛇<small>たけへび</small>, ろくろ細工<small>ろくろさいいく</small>のとら, 木の葉<small>きのは</small> 猿<small>さる</small>, 風車, 米食いねずみ, くじら車, ねことねずみ, 金魚ちょうちん, ハブグワァ, なりごま, すずきみみずく ○ 三世大谷鬼次の奴<small>さんせいおおたにおにじ</small> 江戸兵衛<small>やっこえいどべえ</small> ○ 外国の友だちの絵(イタリア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風神雷神図屏風, シーサー ○ 扇<small>あふぎ</small>, 掛け軸<small>かかけ</small>, 巻き物<small>まきもの</small>, 文様<small>もんよう</small>, 根付<small>ねつけ</small>, 和菓子<small>わがし</small>, 鳥獣人物戯画<small>ちようじゆうじんぶつが</small> ○ 外国の友だちの絵(ウクライナ) 	

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	④豊かな情操や道徳心の育成に関する内容の記述
方法	「道徳の内容」と関連した題材等の記載及び具体例

	「道徳の内容」と関連した題材等の記載	具体例
開隆堂	○ すべての学年において「道徳の内容」と関連した題材等を設定している。	○ 「4 主として集団や社会とのかかわりにかんとすること」に関連したページ (5・6下)「みんなのギャラリー」 「友だちといっしょに、『夢のまち』を想像しながら、自分たちの思いに合った材料を使ってつくりました。」
日 文	○ すべての学年において「道徳の内容」と関連した題材等を設定している。	○ 「4 主として集団や社会とのかかわりにかんとすること」に関連したページ (3・4上)「ねん土マイタウン」 「みんなでくふうしていたら、本当のまちづくりのような気持ちになってきたよ。」

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	マークや図等の活用及び具体例

	マークや図等の活用	具体例
開隆堂	○ すべての学年において図画工作で育てたい力などをマークで表している。	○ めあてに関するマーク ・ 試したり, 見つけたり, 考えたりして思いつく力 ・ 形や色, 方法や材料をくふうする力 ・ 心を開いてたのしく活動し, 友だちとかかわり, 協力し合う力 ○ 学習活動に関するマーク ・ 材料や用具の使い方 ・ ふりかえってみよう (1・2上下) ・ ふりかえって, はなしあおう (3・4上下, 5・6上下)
日 文	○ すべての学年において学習活動に関するポイントなどをマークと単文で表している。	○ 学習活動に関するマーク ・ 形や色のチーロさん ・ きをつけよう ・ かたづけ ・ 活動の後で ○ 授業で使うおもな用具のマーク ・ はさみ, のり, 絵の具, クレヨン・パス, のこぎり, ペンチなど

【図画工作】

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑥造形活動への意欲を高め、社会や文化とのかかわりを考えさせるための工夫
方法	身のまわりの造形に関心をもたせる鑑賞資料等の扱い

		身のまわりの造形に関心をもたせる鑑賞資料等の扱い				
開隆堂	学年	小さな美術館	ゆめをかたちに	みんなのギャラリー	裏表紙	
	1・2上	みんなようこそ	なにを かこうかな、 なにを つくろうかな、 わくわくするね	でんとうの わざを まなぶ みんなでいっしょに きょうしつを とび だして	みつけたよ、すてき なかたち・いろ	
	1・2下	みんな友だち	みんなおいでよ、 ぬのであそぼう	みんなでいっしょに 教室を とびだして	つながるぞうけい	
	3・4上	やってみたいな	できたらいいな、 お気に入りの色	みんなでいっしょに 教室を とびだして	みつけたよ、すてき な形・色	
	3・4下	音を感じて	思いをこめて、 ほって、する	教室を とびだして 伝とうのわざを学ぶ みんなでいっしょに	つながる造形	
	5・6上	ひびき合う色と形	新しい世界や人々と、 心をつないで	教室を とびだして 伝統の技を学ぶ みんなでいっしょに	みつけたよ、すてき な形・色	
5・6下	暮らしを見つめて	ゆめを広げて、魂をこ めて、作品をつくる	みんなでいっしょに 伝統の技を学ぶ 教室を とびだして	つながる造形		
日 文	学年	教科書美術館	図画工作の広がり	ぞうけいのもり	裏表紙	
	1・2上	たのしい かたちや いろのせかい	/	たのしい ゆかいな いきものたち	かたちやいろをたの しもう	
	1・2下	たのしい かたちや いろのせかい	/	花や草となかよし	かたちやいろをたの しもう	
	3・4上	あつまれ！ ざいりょう・用ぐ	作ひんを見てもらお う	つくる人	形や色を楽しもう	
	3・4下	光とかげの世界	遊びとおもちゃ ざ いりょうを生かして	手と道具	形や色を楽しもう	
	5・6上	不思議な世界	図画工作でつながる 美術館とつながる	家の形 家の色	形や色を楽しもう	
5・6下	想像は時をこえて	未来を見つめて 表現にこめた思い	伝わる つながる	形や色を楽しもう		

【図画工作】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材や資料等の配列
方法	題材数及び構成や配列

	学年	題材数	見開き 題材	1ペー ジ題材	構成や配列					
					項目					
					造形 遊び	絵	立体	工作	鑑賞	
開 隆 堂	1・2上	22	8	14	4	9	2	7	3	すべての学年に おいて題材を5項 目に分類して配列 している。 1つの題材で複 数の項目を示して いる題材もある。
	1・2下	21	9	12	4	9	2	6	2	
	3・4上	21	9	12	3	8	2	7	1	
	3・4下	16	13	3	2	7	2	4	1	
	5・6上	17	13	4	2	6	2	6	1	
	5・6下	17	13	4	2	7	2	5	1	
日 文	1・2上	22	20	2	4	7	4	6	1	すべての学年に おいて題材を5項 目に分類して配列 している。
	1・2下	22	20	2	4	7	4	5	2	
	3・4上	21	19	2	4	7	4	5	1	
	3・4下	20	20	0	4	6	4	5	1	
	5・6上	18	18	0	2	6	4	4	2	
	5・6下	18	18	0	2	6	4	4	2	

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧掲載している作品等の数
方法	サイズを明記している参考作品の数

	学年	サイズを明記している参考作品の数	
開 隆 堂	1・2上	88	172
	1・2下	84	
	3・4上	104	199
	3・4下	95	
	5・6上	98	200
	5・6下	102	
日 文	1・2上	85	170
	1・2下	85	
	3・4上	80	190
	3・4下	110	
	5・6上	107	231
	5・6下	124	

【図画工作】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨作品等についての解説・表記の仕方
方法	作品や造形活動についての解説・表記の仕方及び具体例

	作品や造形活動についての解説・表記の仕方	具体例
開 隆 堂	○ 作品の解説として題名や作者の考え・感想を示している。	<p>(1・2下)「ひみつのグアナコ」 「足は もうすこし 太いほうが いいかな。なん本にしようかな。」</p> <p>(3・4上)「ようこそ，キラキラの世界へ」 「くしゃくしゃにした銀紙とピカピカのテープを重ねました。にぎやかで，たのしい感じになりました。」</p> <p>(5・6上)「流れる風をつかまえて」 「紙テープを使うときれいにたなびくので，あんだ紙テープもつなげようと思いました。」</p>
日 文	○ 作品の解説として題名や作者の考え・感想を示している。	<p>(1・2下)「にぎにぎ ねん土」 「つよく にぎったら，クワガタの つのが できたよ。」</p> <p>(3・4上)「これにえがいたら」 「ぬのかくと，にじんで色がふわっと広がるかんじから，6月の雨を思いついてかいたよ。」</p> <p>(5・6上)「あんなところで こんなところで」 「暗いろう下を明るくしようと思いました。青い色画用紙と風船を使って空の様子をつくりました。」</p>

【図画工作】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑩鑑賞活動における言語活動の工夫
方法	言語活動の示し方及び具体例

	言語活動の示し方	具体例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動につながる鑑賞の目標を示している。 ○ カードを用いた鑑賞の方法を具体的に示している。 ○ 鑑賞の視点と児童の言葉を示している。 	<p>(1・2下) 「自分や友だちの作ひんのよいところをみつけよう。」</p> <p>(3・4下) 「いろいろな形や色を組み合わせたカードをつくろう。カードから感じたことを言葉にしながら、みんなでゲームをたのしもう。」</p> <p>(5・6下) 「ぼくは、かみなりの神と風の神が向かい合っているのはなぜだろうと思った。二人の間のきよりが少しあって、きっと対決するところだと思う。」</p>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動につながる鑑賞の目標を示している。 ○ カードを用いた鑑賞の方法を具体的に示している。 ○ 鑑賞の視点を吹き出しで示している。 	<p>(3・4下) 「体で味わって気づいたことやおもしろさを友だちにつたえよう。」</p> <p>(5・6上) 「カードをならべていろいろな『感じ』がするカードを見つけよう。たとえば、『楽しい感じがするカード』を選んで、なぜそう思ったか感じたことを伝え合ってみよう。」</p> <p>(5・6上) 「どんな表じょうをしているかな。」「どんな色を使っているかな。」「つくえの上には何があるのかな。」</p>